

TsuKuRu トピックス 2021

四季のうつろい

～実りのとき～

実りのとき。味覚狩りに出かけたいこの季節。今年も敷地内に実りました。葉っぱの間に、黄色く色づいた果実。ひと足先に「柿」の収穫をはじめたのは、とまと班。手の届く高さにぶら下がる柿の実にやさしく手を伸ばす姿は、さすがとまと班の皆さん。日頃、やわらかい皮のミニトマトをやさしく扱うスペシャリストです☆ 秋晴れの空の下、やや肌寒い秋の風を感じながら「実りの秋」「里の秋」を、心と肌で感じたひと時でした。



▲実りの秋を肌で・心で感じます

大自然の中だからこそ

園芸班の闘い。それは・・・



▲跡形もないイノシシ被害



6月5日、秋の収穫を楽しみに、園芸班の利用者のみなさんと職員がサツマイモの苗を植えました。夏が続いた当初も、汗を流しながら毎日水やりも頑張りました。ところが！7月21日の朝、畑へ足を運んでみると・・・。青々とした葉も蔓（つる）も散乱。マルチシートも原型を留めていませんでした。前日の夜、どうやらイノシシが出没したようです。とても残念でしたが、これも大自然の中だからこそ与えられた「課題」という宝物でした。

大自然からの贈り物

1月7日～8日にかけての気温低下。冷たい風が痛く感じるほどの冷え込みでした。そんな中、自然界から、玄関先に贈り物が届きました。自然に囲まれた、この地だからこそその素敵な贈り物。なんと「樹氷」です。



▲松葉についた樹氷

2021年 今年こそは

～ガンバレ日本！落ち着けコロナ！～



▲五輪のリース

そこで！「今を乗り越え、来年こそは！」と、クリスマスに願いを込め、とまと班が作業の合間に、恵まれた自然を生かして、「オリンピック（五輪）」をモチーフにした、クリスマスリースを作りました。上の3つは「利用者の皆さん」・「家族」・「地域の皆さん」下の2つは「まがたま」・「職員」を表しています。今こそ！五輪のようにつながり、手を取りあい、みんなで苦難を乗り越えましょう！そして2021年こそは！オリンピックの開催と共に、私たちにとって幸せな一年になりますように。

2020年は、日本でオリンピックが開催され、歴史に残る一年になるはずでした。そんな中での、コロナ感染拡大による開催延期。だれもが落胆したに違いありません。



TsuKuRu -つくる-

～つくるよろこび 私らしさ まがたまらしさ～

まがたま生産班だより
第2号（年3回発行）
発行 まがたま生産班
トマト・パン・しめじ・園芸

2021年新春



2010年の年越し豪雪から、まさに10年。10年に一度といわれた大雪予報で、施設も雪対策に追われた年末年始となりました。みなさま、新年あけましておめでとうございます。

新しいメンバーでスタートした、桜咲く4月から、あっという間に時間が過ぎ、下半期も終盤に入りました。

去年は、どこに行っても、どこに居ても「新型コロナウイルス対策」で、施設においても、家庭においても、いつもの生活は一変し、先が見えない今も、みなさんご不便に感じておられることと思います。

「普通」であることのありがたさ、「健康」でいられることのありがたさを痛感し、今の世の中、そしてかけがえのない命を日夜守り続けてくださる、医療従事者の皆さまに「感謝」する毎日です。

そんな中ではありますが、まがたま生産班の利用者の皆さんは、誰もが元気に生き生きと活動に参加され、今日を迎えました。様々な面で制限であったり、ルールの厳重化であったりと、利用者の皆さん、ご家族のみなさんにもご不便をおかけしておりますが、皆さんの温かいご理解のもと、生産活動を展開することができています。

職員一同、心より感謝申し上げます。

さて、当おたより「Tsu Ku Ru -つくる-」第2号では、今日までの活動はもとより、みなさんの表情、季節のイベント、各班のトピックスをご紹介させていただきます。ボリュームアップした紙面でどうぞお楽しみください！



▲イオン菅田店にてミニトマト陳列しています



業者の皆様・玉造温泉の皆様
多くの皆様に支えられながら～

真心こめて作った生産品。現在、松江市内のイオン3店舗、JA産直コーナーをはじめ、町内や法人施設の皆様、多くの皆様にお買い求めいただき、支えていただいています。

また、最近では、島根銀行様、島根電工様、企業の皆様のご協力で、事業所への移動販売や配達も行なうなど、コロナ禍にありながら、温かいご理解をいただいております。

全ての皆様への感謝の気持ちを忘れず、配達や販売を通じて、地域とのつながり、利用者の皆様の地域参加を応援していきたいと思っております。





とまと班



▲流れ作業の様子
一つひとつに心を込めて



大好評！収穫体験！

～今だからこそ！楽しめる方法を見つけよう！～

2020年、多くのイベントが中止になり、施設の行事も縮小、外出の規制などなど、まさに「ガマン」の年でした。

そんな中、「今」私たちにできることを！と、とまと班ならではの、期間限定、とまと狩り体験を企画しました。暑い夏でしたが、みずみずしく甘〜く熟れたとまとに、ひと時の「涼」を与えられた時間となりました。

生産に携わる利用者の皆さん、職員としても、コロナ禍での努力と、前向きな発想がこの日、ハウス内で花を咲かせました！



▲ハウスの中で七夕飾り



ONE TEAMで

～「私らしさ」を大切に

とまと班の流れ作業～

「私にできること」「私だからできること」を尊重し、一人ひとりが担当作業に、やり甲斐をもって参加してくださいませ。

全ての作業と思いがつなまって、「まがたまのミニトマト」が完成します。リコピン、ビタミンたっぷり、まがたまのミニトマトを食べ、**「今」を乗り切りましょう！！**



製パン班

新機一転！

～人も仲間・機材も仲間
新しい機材にバトンタッチ～

みなさまに愛されるパン作りを目指して。歴史の長いまがたまのパン工場。製造にかかせない多くの機材も毎日フル稼働し、数えきれないほどのパンを作ってきました。

この度、20年以上にわたって活躍した食パンスライサーが、勇退の時期を迎え、新しいスライサーにバトンを託しました。

引き続きみなさまに、素朴でやさしいパンをお届けできますよう、大切に使い、楽しいパン作りを展開します。



▲喫茶コーナー（だんだん喫茶）

ひと息つきませんか？

喫茶コーナー大盛況

敷地内で営業する、手作りの喫茶コーナー。おかげさまで大盛況です。喫茶のスタッフは、製パン班の利用者様と職員。コーヒー、紅茶、ジュースなどと一緒に、製パン班特製、手作りお菓子でみなさまをお待ちしています。



「今」を乗り切ろう！！

～コロナ禍のまがたま生産班～

努力・奮闘・笑顔



エネルギーいっぱいのオレンジカラー

～ユニホーム リニューアル！～

歴史の長い、まがたましめじ班。夏にユニホームをリニューアルしました。オレンジ色のポロシャツに、オレンジ色の帽子。夏の空の下、まるで「ひまわり」を思わせるようなオレンジ色で「一体感」を感じます。太陽に向かって咲くひまわりのように生き生きと、「チームしめじ班」「チーム生産グループ」でさらなる飛躍を願います！



▲エネルギーあふれるオレンジカラー



積み込み完了！
配達に出発です！



寒さにマケス！ コロナにもマケス！

～食卓にいかがですか～

冬の寒さにも負けず、元気いっぱい、生産活動に取り組むしめじ班。

この一年、なめこ、ひらたけ、きくらげ、しいたけとバリエーションを増やし、日々生産活動に励んでいます。

「おいしかったよ」の声と、皆さまの笑顔を励みに、利用者の皆さんと職員が、一丸となってにぎやかに活動しています。

願いは同じ

～無病息災・
コロナの終息～

1月14日、この日は久しぶりの青空が広がり、春を思わせるほどの天気。

そんな中、前日に園芸班は、皆さんが持ち寄った正月飾りで、日本の伝統にふさわしい、立派なグロを完成させ、とんど祭りを行いました。

玉作湯神社、遠藤宮司様の、神々しく厳粛な祝詞によって、利用者みなさん、職員の健康、事業所の飛躍を願い、お焚き上げの、迫力ある炎と煙、竹の豪快に割れる音は私たちを魅了しました。

願いは同じ。

「無病息災とコロナの終息」です。



▲とんど祭
お焚き上げ

年末の風物詩

～一年の感謝 来年への希望～

吹く風が冷たくなった、12月中旬。園芸班では、日本のお正月の風物詩、古くから伝わる縁起物。「門松」の製作が最盛期となりました。

作業場には薪ストーブを炊き、防寒着に身を包みながら、そして白い息を吐きながら門松作りに取り組む風景を見ると、「ああ、今年ももうすぐ終わるんだなあ」と、季節感を伝えてくれます。

出来上がった見事な門松。来年こそ、コロナの終息、そして皆様にとって輝かしい一年になりますように……。



しめじ班



園芸班

